



新年のごあいさつ

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
あべ かずひこ
会長 阿部 一彦

穏やかな年の初めを期待していたなか、能登半島地震により尊い人命が奪われたことに哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

障害者権利条約批准から本年1月で10年を迎えます。条約批准により障害者施策の推進とともに、私たちを取り巻く社会環境も一層の促進が期待されます。また、障害者差別解消法において課題とされていた合理的配慮の提供にかかる民間事業者の努力義務については、本年4月から義務化に引き上げられたほか、国と地方公共団体の連携強化等も盛り込まれました。法律が円滑に運用されるためには、私たち自身が率先して、改正障害者差別解消法の理解啓発や周知活動に取り組んでいくことが求められます。

さらに、超高齢化社会のなかで、どのような場面にあっても、障害を理由に不利益を被ることがないよう、また、障害のある人が孤独・孤立に陥らないよう、国及び地方自治体への働きかけに努め、障害理解に対する関心と認識が地域社会に根づくよう取り組むことも肝要です。

コロナ禍を経て、さまざまな経験を積むなかで、日身連は、ICTの活用といった新しい環境をうまく取り入れながら、加盟団体の皆さまとの一層の連携強化に努め、当事者参画のもとで、多様性を認め合い、ユニバーサルデザインの街づくりと心のバリアフリーの一層の促進にむけ取り組んでいきたいと思っております。そして、全国の加盟団体の皆さま並びに日頃よりご支援いただいている関係者の皆さまとともに、地域共生社会の実現を目指し鋭意努力してまいります。引き続き、日身連の活動に対しまして、特段のご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

結びに、すべての皆さまにとってより良き一年となりますよう祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

12月25日、日身連副会長の交替や、要望事項の取りまとめなどを主な議題として、第2回定例理事会がオンラインで開催されました。

令和5年度第2回定例理事会 日身連副会長の交替など

副会長の交替は、関東甲信越静岡ブロック推薦の小西慶一（こにしけいいち）副会長のご逝去に伴うもので、茨城県の荻津和良（おぎつわら）理事が当該ブロックから推薦され、承認されました。

各ブロックや政令指定都市等からいただいた要望事項については、改正障害者差別解消法の施行等を踏まえた障害者施策や、バリアフリー施策などに関するものを中心に、延べ64件の要望が寄せられました。理事会ではこれらの整理を行った上で、内容が重複するものなどもあることから、組織・施策等検討委員会において内容を精査した後、正副会長会での確認を経て各府省庁へ提出することが了承されました。

そのほか、在宅勤務規程及び文書管理規程の作成、並びに在宅勤務規程の作成にあたっての就業規則の一部改正について、承認されました。

◆新副会長のお知らせ
◎任期・令和5年12月25日から令和6会計年度に関する定時評議員会終結まで
荻津和良（おぎつわら）（一般社団法人茨城県身体障害者福祉団体連合会会長）



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
テアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円



第2回定例理事会の様